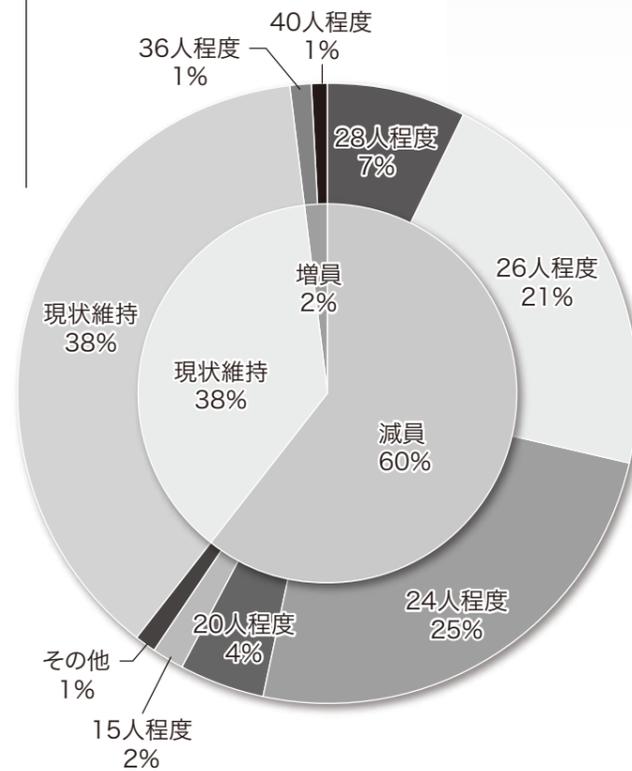


議会報告会を実施

●「議員定数に関するアンケート」 実施8地区の集計結果を掲載します。

問 現在定数は30人ですがどの位の定数が適正だと思われますか？



- 地域の声を提案してほしい。
- 人口減少に伴い、定数減は仕方ないと思う。
- 報告会では、わかりやすい資料を準備していただきたい。
- 市の10～20年後のビジョンを見せてもらいたい。
- 防災対策の遅れが懸念される(避難施設、避難場所の設置など)。
- 会派が細かく違いがわからない。
- 市の職員の調整が必要ではないか。

本渡地区〈10/26〉



天草地区〈11/5〉



- イノシシが多くて困っている。庭先まで来ている。具体策を。
- 斎場がなく、空いた施設を冷暖房完備して使わせてほしい。
- 廃校跡を使ってシルバーホーム的なものを作ってほしい。
- 企業を誘致してほしい。成功企業や人を紹介してほしい。
- 空き家が倒壊しそうで、地主に対し市から対応をお願いしたい。
- 振興会の法人化を考えている。

新和地区〈11/5〉



- 議員の給与を下げて増員を。
- レジ袋有料化を条例化してほしい。
- 若者が就農できるような組織作りをお願いしたい。
- 経済効果だけでなく、過疎地域にも政治の光をあててほしい。

五和地区〈11/12〉



- 若者が意見を言える市にならないと、市は発展しないと思う。もう少し若者が来るような意見交換会にしてほしい。
- 各支所の充実をお願いしたい。

河浦地区〈11/19〉



- イベント行政から産業主体行政への移行を。
- 天草市議会基本条例の目的とおり市民は期待しています。
- 議会のチェック機能が欠けている。

御所浦〈11/20〉



- 議会の活動が見えない。
- 高齢化対策、住み続けられるまちづくりをしてほしい。
- 議員皆さんが市民の代表として頑張れるような環境づくり、それは市民の責務。

など多くのご意見をいただきました。

一般会計 **519億5,525万2,426円** 認定

特別・企業会計 **366億5,625万8,652円** 認定

平成23年度
決算報告

一般会計

●歳入について
問 不納欠損処理について。
答 滞納整理後、催告を実施。面談して納付方法を検討し、不納欠損の処理を行っている。
要望 滞納者が転出した場合は、納付義務の公平性から厳正な対応を取るよう求めた。

●歳出について
問 交通安全施設整備(歩道やカーブミラーの設置など)の対応について。
答 地域の要望により計画的に整備を行っている。その後の要望は、緊急性が高いものは、補正予算により対応したい。

問 積立金現在高の増額について。
答 普通交付税が一本算定となった場合、5年間で125億円の減少となり、庁舎建設等の大型事業に対応するため、できる限り積み立てておく。
問 天草エアラインの安全運航について。
答 機体については、構造検査済みで、エンジンなどの機材についても毎回整備が行われており、安全な運航が確保されている。

問 地方バス運行等特別対策補助金について。
答 平成21年度に本市における61

路線を34路線に再編し、利用者のニーズに合わせた再編と補助金の抑制に努め、平成25年度には公共交通計画を作成する予定である。
問 医師修学資金貸与制度の利用者数について。
答 基金の利用者は現在1人で、天草市出身の医学部生については、調査中である。

問 イノシシ対策について。
答 平成23年度からイノシシ対策係を設置、国の事業による防護柵の設置や特区を活用しながら駆除に努めている。

問 キリシタン館における小・中学校、高校生の入館料について。
答 学業のためであれば減免規定はあるが、今後は、学生手帳や名札の提示で無料にできないか、また、障がい者の規定も含め検討中である。

問 各マラソン大会補助金の今後の方向性について。
答 天草マラソン大会については参加者も年々増加し引き続き開催する。参加者数の推移や地域の祭りとの連携等を踏まえ、検討していく。
問 全国大会出場補助金について。
答 社会体育において個人の都合、1万円、団体の場合、1人当たり1万円。ただし、20人をもって限度として補助しているが、額の見直し等については、他市の状況等も参考にしながら、今後の検

討課題としたい。
要望 九州内、関西方面、関東方面と地域ごとに補助金を定めているところもあるので、独自性をもつて検討するよう求めた。

特別・企業会計

●国民健康保険特別会計
問 医療費の抑制について。
答 医療費は増加傾向にあるため、将来高齢となる40代から50代に対する健診の促進や、運動教室の実施など、病気になるための体作りを目指して、各関係機関との連携もとりながら健康づくりの各種事業を実施し、ひいては医療費の抑制につなげていきたい。

●国民健康保険診療施設特別会計
問 医師確保の現状について。
答 さまざまな手立てで医師の確保に努めているが、天草がへき地であるなどの理由から大変厳しい状況である。

要望 へき地である天草で働く魅力がないのであれば、平等な医療を提供するためにも、報酬の引き上げなどを含め、天草独自の対策を十分検討するよう求めた。

●病院事業会計
問 公営企業法の全部適用の効果について。

答 管理者が責任を持って病院運営をしていく体制が整ってきたこと、看護師などの選考・採用ができるようになったこと、契約事務の迅速化が図られたこと、また、栖本病院があらたに救急指定の告示を受け、市立4病院全部において、救急医療を担う態勢を整えたことなどが挙げられる。

●水道事業会計
問 現在の石綿(せきめん)管布設状態について。
答 石綿管については、市内に8キロメートルほど残っている状態であるが、来年度から5年間ですべて布設替えの予定である。

問 上水道区域における浄水場の整備状況について。
答 本渡地区の楠浦・柵宇土・城の平の3箇所、牛深の浦越浄水場に関しては、平成25年度で改修を終える。

問 御所浦地区に関しては、安定した水質の水を供給するため、最善の工法を検討するよう求めた。
問 路木ダムの建設にかかる上水道と簡易水道の負担割合について。
答 水源の利用が牛深の上水道、河浦の簡易水道となっており、取水量の割合で、牛深3,000トン、河浦1,600トンの負担割合を定めている。